

## 令和3年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立科学技術学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主任教諭（総務部）、経営企画室長、総務部員1名 計3名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務部)、主幹教諭（進路部）、主幹教諭（保健部）、主任教諭(生徒部)、主任教諭(総務部)、主任教諭(研究部) 計9名
- (4) 協議委員の構成  
拓殖大学教授、本校後援会2名、江東区青少年委員会会長、江東区立中学校長2名、江東区教育委員会主任指導主事、江東区大島一丁目会長、子どもの成長と環境を考える会代表 計9名

### 2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和3年6月17日（木）内部委員8名、協議委員8名  
学校長挨拶、委嘱状交付、自己紹介、役員紹介、本校の現状と課題等説明、意見交換、事務連絡
  - 第2回 令和3年11月26日（木）内部委員9名、協議委員7名  
学校長挨拶、これまでの教育活動に関する説明、意見交換、学校評価アンケートについて内容検討、協議、事務連絡
  - 第3回 令和4年2月17日（木）書面開催 内部委員9名、協議委員8名  
グランドデザイン（令和4年度向け案）、学校評価アンケート・授業アンケート、空調改修工事の概要について、これまでの教育活動に関する報告（今年度の重点目標、今年度の取り組み、成果と課題）、学校運営に関する提言
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和3年6月17日（木）内部委員8名、協議委員8名  
昨年度の学校評価アンケートの概要説明、今年度の学校評価のスケジュール確認
  - 第2回 令和3年11月26日（木）内部委員2名、協議委員2名  
今年度の学校評価アンケート案の検討
  - 第3回 令和4年2月17日（木）内部委員9名、協議委員8名  
今年度の学校評価アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・ 12月 全校生徒 対象：619人 回収：605人 回収率：96.6%
  - ・ 1月 保護者全員 対象：617人 回収：347人 回収率：43.0%
  - ・ 1月 地域・住民 対象：29人 回収：23人 回収率：82.8%
  - ・ 12月 教職員 対象：62人 回収：56人 回収率：90.3%
- (3) 主な評価項目  
教育目標、本校の特色、学習意欲、理解度に応じた授業の工夫、授業の進度、生活指導の周知、進路指導の連携、進路指導の方法、学校行事について、学校生活について、健康安全指導について、防災活動について、清掃状況について、SSH事業について、学校生活の充実について、地域との連携について、開かれた学校づくりについて、特色ある学校づくりについて等。
- (4) 評価結果の概要
  - ・ 各質問項目について、教職員・保護者・生徒については、いずれも肯定的割合が概ね7割を越えている。地域の方々については、「わからない」の回答が多かった。
  - ・ 特に教育目標、科学技術に関する授業、SSH事業については、保護者・生徒の8割以上が学校の取り組みを肯定的に評価しており、本校の特色ある教育活動について高評価を得ている。
  - ・ 教育目標の周知については、教職員の84%、保護者の87%が肯定的な評価であるのに対して、生徒の肯定的評価が45%と低い。
  - ・ 学校生活を豊かにするための工夫、施設設備の修理状況・清掃状況については、生徒の肯定的評価が

6割台であった。

#### (5) 評価結果の分析・考察

- ・教育目標の周知に関しては、教職員・保護者と、生徒との間に評価の開きがあった。本校の教育目標をわかりやすく生徒に伝え、一層周知させる必要がある。
- ・授業のわかりやすさについては、教職員全員が教材や教え方に工夫をしていると回答したが、保護者の肯定的評価は79%とやや開きがある。さらなる教材研究や授業方法の改善に努める。
- ・生活指導の方針やきまりは、生徒の86%が理解している。今後は、その目的や取り組みについて、生徒の理解を深めさせる。
- ・進路指導については、生徒の適性や希望を生かした適切な進路指導が行われていると感じている保護者は79%であるが、保護者との連携が密であると感じているのは66%であった。保護者に対する情報提供の機会を増やし、連絡を一層密にする等の取り組みが求められる。
- ・学校行事に対する保護者の肯定的評価が、一昨年度と比較すると少なく68%、生徒の肯定的評価は73%であった。コロナ禍の中、各種行事が中止・制限されたことが要因の一つとして考えられる。今後は、学校行事の分析や生徒の意識調査を行い、行事内容の改善や目的の周知に努める。
- ・学校生活について、保護者の70%、生徒の76%が学校生活を豊かにするための工夫がなされていると回答している。さらに生徒とのコミュニケーションを密にし、意見の分析に努めながら改善点を模索していく。
- ・SSH事業については、保護者の87%、生徒も83%が本校独自の教育プログラムを肯定的に評価している。本校の根幹となるべき取り組みでもあり、一層の充実を図っていく努力を継続していきたい。
- ・開かれた学校づくりや地域との連携について、地域の方々からの肯定的な意見は52%であった。要因の一つとしてコロナ禍で学校開放事業が中止になったことが考えられる。状況が許せば、今後は学校開放事業や地域行事への積極的な参加を行っていく。

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題

##### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・協議委員との意見交換を通して、本校に対する理解を深めていただくと同時に、客観的な提言をもとに、具体的な取り組みを模索する事ができた。
- ・教職員が、連絡協議会での議論を礎にして、学校をより良くしていこうという意識を一層高める事ができた。

##### (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・大学入試が多様化していく中で、総合型選抜や学校推薦型選抜に対しての指導の徹底と、基礎学力の定着に向けた組織的な取り組みを今後も行っていく。
- ・生徒が学校を認識する媒体はホームページや動画サイトの占める割合が高い。ホームページの更新回数を増やし、データや画像を盛り込む等、見やすく・分かりやすいホームページの作成を心がける。
- ・協議委員からの意見を参考にして、高専との違いを明確にしたり、SSHに指定されたことをアピールするなど、今後、有効と思われる学校広報の方法を模索する。

#### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

##### (1) 学校運営

- ・先進的・実践的な科学技術教育を推進する学校として、幅広い科学的知識や技能を培い、大学進学に向けた普通教科指導に加え、実験・実習や大学・研究機関と連携した体験学習を豊富に取り入れ、校内外での研究活動・研究発表を充実させることで、将来の科学技術者・研究者として活躍できる生徒を育成する。

##### (2) 学習指導

- ・学校設定教科・科目の内容を充実させ、数学・理科・英語に習熟度別授業等を多く取り入れ、理系に特化した教育課程を編成する。さらに課題研究等の探求活動を中心に据え、様々な教科で探究活動を取り入れる。
- ・令和4年度、平日45分7時間授業、土曜日は講習等で有効利用する。また、3年次に多彩な選択科目を設け、共通テストに対応できる学力を高める。さらに、入学時より「SS特別進学クラス」を設け、国立大、難関私立大学への多様な選抜方法に挑戦する生徒の育成を行う。
- ・充実した施設・設備を基に、実験・実習やフィールドワーク等の体験的な学びを通して科学技術への興味・関心を伸ばし、問題解決能力を高め、生徒の主体性を伸ばす校内外の研究活動・研究発表の内容充実を図る。

- (3) 特別活動
  - ・自然科学部門での発表、海外校との共同研究発表等の活動を通して発信力を育成する。
  - ・台湾・姉妹校交流や海外研究者講演、英語による研究発表等を実施し、多様な文化を尊重できる胎動を育み、国際的に活躍できる科学者の育成に努める。
- (4) 生活指導
  - ・挨拶の響く明るい学校を推進し、遅刻指導やセーフティー教室の実施等により、規範意識や望ましい倫理観を育成する。
- (5) 進路指導
  - ・外部研究施設見学や大学研究室訪問、講演会を通して自己の在り方生き方について学び、将来の進路について考える機会を充実させる。また、外部模擬試験の活用、個別指導の充実、学習支援クラウドの活用を推進する。
- (6) 健康・安全
  - ・継続した生徒の健康管理を行う。また、健康診断の効率的な運営に努める。
  - ・校内美化の徹底を継続する。具体的には、階段、手すりなどコロナウイルス対応による消毒。
  - ・熱中症予防講習会等の校内研修会を実施する。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

- (1) 協議委員人数 5人
- (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
3	2	3	0	0	0	1

- 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果  
今年度は協議委員の参加実績がなかった。